

# 第1学年 道徳科学習指導案

## 研究テーマ

ねらいとする道徳的価値に関する問題場面を自分事として捉え、よりよい自らの生き方に思いめぐらせる生徒の育成

## 単元を通して育成したい子どもの姿

課題を自分事として捉え、考えを他の人と伝えたいと感じる生徒

授業で学習したことをもとに自ら目標を見つけ、これからの生活に生かそうとする生徒

1 主題名 よりよいクラス活動を目指して

2 教材名 全校一を目指して (内容項目C-15 よりよい学校生活, 集団生活の充実)

### 3 主題設定について

生徒は入学してから違う学校, 今まで違う学級だった生徒と様々な活動に協力して取り組み, ペア学習やグループ学習などでは意欲的に発言し合う姿が見られた。しかし, 学級で活動していく中で, 集団のことを考えないで行動したり, 自分の考えを優先させてしまったりすることがあった。また, 話し合いの場面では, 相手の話を理解しようとしなかったり, 自分の意見を無理に通そうとしたりすることにより, まとまりに欠ける場面があった。

本教材は, 生徒総会で提案されたボランティア活動についての話し合いから始まる。学級の中で目標を持って取り組むこととなったが, 生徒間で意欲に差が出て関係がギクシャクしてしまう内容である。本教材の登場人物の行動や気持ちを考えていく中で, 今までの自分の生活を振り返らせることができる教材である。

授業構想にあたり, 立場や考え方が違う二組の登場人物の会話部分を焦点化して, 自分は何の登場人物に共感できるか考えさせ, グループで意見交換させたい。その際, どちらの立場についても意見を交流することで, 自分の考えを広げることができる。さらに, 自分の経験から登場人物のような経験をしたことがあるか, その時どんなことを考えたのか問いかけることで, 問題を自分事として捉え, よりよい集団生活を送ることについて思いめぐらせる態度を育てたい。

### 4 本時の研究の視点

【視点1】教材の問題場面を焦点化し, 自分事として考えさせる活動の設定

○「真美と由紀」「圭司と悟」の会話場面に焦点を当て, どちらの立場に共感できるか考えさせることで自分事としてこの問題を捉えさせる。

【視点2】自分のよさや至らなさに思いめぐらせる発問や活動の工夫

○「真美と由紀」「圭司と悟」両者に「足りているもの」「足りていないもの」はどんなことか考えさせ, 自分の生活から同じような経験をしたことはないか振り返らせる。

### 5 本時で働かせる見方・考え方

○ 登場人物の言動や思いを自分事として捉え, 同じようなことがなかったか自分の経験とその時の思いや考えを振り返る。

### 6 本時のねらい

立場や考え方の異なる登場人物のどちらに共感できるか考えさせる学習を通して, 集団の一員としての役割や責任について理解させ, 互いに協力してよりよい学校生活を送ろうとする態度を育てる。

## 7 学習過程

| 学習内容・活動（予想される子どもの反応）  | 時間 | ◇教師の支援 ※評価  |
|---|----|---|
| 1 自分はどんな集団に所属しているか確認し、意識していることを挙げる。<br>・学級、委員会、部活動<br>・相手の話を聞く ・マナーを守る  | 5  | ◇ アンケート結果を共有し、日常生活でどのようなことを意識しているか確認させる。  |
| 2 学習課題を把握する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">よりよい集団生活について考えよう。</div>           |    | ◇ 学習課題を確認させ、活動の見通しをもたせる。  |
| 3 教材文を読み、登場人物を確認し、関係を整理する。<br>(1) 登場人物の確認をする。<br>○由紀・竹田さん・真美 ○圭司・悟<br>(2) 「真美と由紀」「圭司と悟」のやりとりを聞き、対立している様子を確認する。                              | 7  | ◇ 事前に教材文を読む時間を確保し、読ませておく。<br>◇ 登場人物の関係を確認し、学級の状況や、登場人物同士の関係を理解させるとともに、問題場面を焦点化して提示する。   |
| 4 「真美と由紀」「圭司と悟」、どちらの立場に共感できるか考え、意見交換する。<br>○「真美と由紀」<br>・話し合いで決めたことを守るべきだ<br>・責任感をもってやるべきだ<br>○「圭司と悟」<br>・大切な大会が近い、しかたない<br>・部活動を優先する気持ちはわかる | 6  | ◇ <b>「真美と由紀」「圭司と悟」の会話場面に焦点を当て、どちらの立場に共感できるか考えさせることで自分事としてこの問題を捉えさせる。（視点1）</b><br>◇ どのくらい共感できるか自分の意見をワークシートにまとめさせる。  |
| 5 「真美と由紀」「圭司と悟」両者に「足りているもの」「足りていないもの」はどんなことか考え、話し合う。  | 15 | ◇ 「真美と由紀」「圭司と悟」両者に「足りているもの」「足りていないもの」について考えさせる。問い返しをして生徒の考えを揺さぶり、意見をたくさん出させる。<br>※ 自分の意見と友達の考えの類似点や相違点を比べながら多面的・多角的に考えている。（観察・ワークシート）   |
| 6 「真美と由紀」「圭司と悟」のような思いを今までの生活でしたことがあるかどうか振り返り、話し合う。<br>・みんなでやると決めたことなのにやらない人がいる。<br>・協力してできないことがあった。<br>・今までの生活を振り返っても思いつくことはない。             | 9  | ◇ <b>「真美と由紀」「圭司と悟」のような経験をしたことはあるかどうか、その時どんなことを考えたか振り返らせる。（視点2）</b><br>◇ 足りているもの、足りていないものについて挙げさせながら考えを深めさせたり、多様な意見があることに気づかせたりする。<br>※ 自分の経験を振り返り、その時思ったこと、考えたことを表現している。（観察・ワークシート） |
| 7 学級でいろいろな考えがあったが、みんなで話し合ってやり遂げた場面を提示する。  | 3  | ◇ 文化祭で最初はぶつかり合ったが、意見を出し合い、合唱練習や学級の発表の準備を協力して行った場面を振り返らせる。   |
| 8 教師の話を読み、よりよい集団生活とは何か確認し、できていたこと、至らなかったことを振り返らせる。  | 5  | ◇ 教師の話を読み、自分の今までの生活を振り返らせ、よかったことや至らなかったことを考えさせる。  |